

「火の用心だより」

第55号(令和元年9月)

発行：札幌市消防局予防部予防課

電気コードからの火災が増えています！

電気コードからの火災の多くは、電気コードの「ショート」や「一部断線による発熱」によるものです。

【電気コードのショート】

電気コードが損傷してむき出しになったプラス線とマイナス線が接触することにより、スパーク火花が発生する状態。

右の写真は、ふすまに挟まれた電気コードがショートした事例です。



【電気コードの一部断線による発熱】

電気コード内部の線の一部が断線したことにより、電気の通り道が狭くなつて、部分的に発熱すること。

右の写真は、壁のコンセントに差していた延長コードが家具で押されて折れ曲がり、延長コード内部の線の一部が断線した状態で使われたことで発熱し、延長コードが発火した事例です。



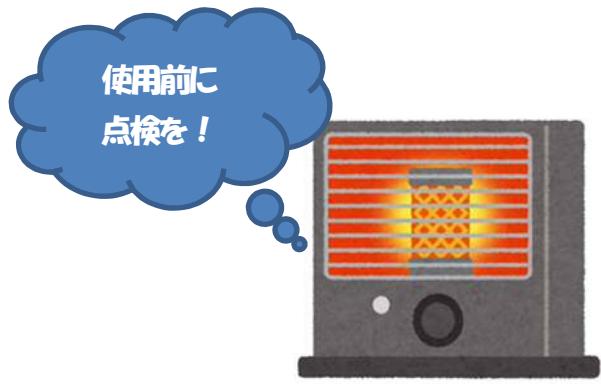
電気火災を防ぐポイント

- 電気コードの上に重たいものを置かない
- 傷んでいる延長コードは交換する
- 電気ロースターや電気スタンド(白熱電球)のまわりに燃えやすいものを置かない
- 家具の裏側や隙間に隠れたコンセントにほこりをためない
- たこ足配線をしない

使いはじめの火の用心！ストーブの季節です

平成30年中のストーブ火災は34件でしたが、ストーブを使用する10月頃から件数が増えはじめ、12月だけで6件ものストーブ火災が発生しました。

これからどんどん寒くなっていきますので、ストーブを使い始める前に、一度点検や清掃を行って、ストーブ火災を防ぎましょう。



- 空気取り入れ口など、ストーブにほこりが溜まっていないかを確認する
- 長期間未使用の灯油は使用を避ける
- 電源コードに亀裂や傷みがないかを確認する

☞見逃さないで！！異常のサイン

ストーブを使用していて、次のような兆候が見られたら、ストーブの調子が悪くなっています。

専門の業者に連絡し、早めの点検整備や清掃を行いましょう。

- エラー表示が出る
- 運転途中に火が消える
- のぞき窓や円筒ガラスが黒くなる（不完全燃焼の恐れ）
- 点火しない

秋の火災予防運動<予告>

秋の火災予防運動は令和元年10月15日（火）～31日（木）までの17日間実施されます。全国統一防火標語は「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

市民が主役の火災予防

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ① 火災予防行事・活動に参加しましょう | ④ 防炎品を使用しましょう |
| ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう | ⑤ 放火されない環境をつくりましょう |
| ③ 消火器などの防災機器を備えましょう | ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう |

発行：札幌市消防局予防措置課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目
☎011-215-2040



SAPP_RO